

羅 針 盤			方 策
評価対象	評価項目	具体的数値項目	
I 確かな 学力 努力点1-①	1 生徒は基礎基本を確実に身につけ、それらを活用し課題解決ができる。	①各教科で80%以上の生徒が基礎基本を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学力向上委員会」を中心にした組織的に継続した取組を実施する。 ・「はばたく群馬の指導プランⅡ」や「授業改善推進プラン」を活用した授業改善を進める。 ・サイエンスドクターを有効に活用する。
		②各教科で生徒の80%以上が知識技能を活用し、考え表現できる力を身につけている。	
II 豊かな 心 努力点1-②	2 生徒は自己有用感を持ち協力して学校生活を送り、良好な人間関係を築いている。	③生徒の80%以上が自己の有用性を感じ、友人関係が良好に保てている。	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業を充実させると共に、実践の場としての体験活動を充実させる。 ・いじめ未然防止の取組を「Q-U」や「学校生活アンケート」を利用して、早期対応や予防に努めるとともに生徒の自主的な活動として推進していく。 ・朝読書の実施など読書活動を推進する。
		④解決されていないいじめがゼロである。	
III 健康・ 体力 努力点1-③	3 生徒は自己肯定感を高めながら運動に親しみ、丈夫な体をつくっている。また、自分の健康に関心を持ち、そのための生活習慣が確立している。	⑤生徒の80%以上が運動に積極的に取り組むとともに、持久力を向上させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「体力向上プラン」に基づいた組織的、継続的な取組を推進する。 ・学校保健計画に基づき、保健指導や保健学習を充実させる。 ・WBGTを活用し夏場の健康管理を徹底する。 ・感染症予防を徹底する
		⑥生徒の80%以上が適切な生活リズムを持つ。また、健康診断後の受診率が向上している。	
IV 生徒 指導 努力点1-④	4 生徒は自主自律の精神を持ち、規律ある行動と態度で充実した学校生活を送っている。	⑦生徒の80%以上が校則や時間を守り、あいさつができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の三機能（自己有用感・共感の人間関係・自己決定の場）を生かした教育活動を進め、生徒の規範意識を育てる。 ・教育相談部会を充実させ、カウンセラーや関係機関との連携を強化する。
		⑧不登校生徒が年度当初より減っている。	
V 進路・ 生き方 努力点1-⑤	5 生徒は自らの進路に関心を持ち、社会的に自立した自分らしい生き方を設計できる。	⑨生徒の80%以上が自己の役割を理解し、主体的に考える力をつけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画に基づき、教育活動の様々な場面で、意図的・計画的なキャリア教育を推進する。 ・目指す姿、身につけさせたい能力を明確にし、地域と連携して体験的なキャリア教育を推進する。
		⑩生徒の80%以上が学ぶことや働くことの意義を理解し、将来設計や選択ができる。	
VI 特別 支援 努力点1-⑥	6 生徒は自立するために必要な知識や技能、態度を身につけている。	⑪対象生徒が適切な支援のもと、学習成果を上げている。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会を中心に「個別の指導計画」を活用しながら、生徒一人ひとりにあった学習支援や生活支援を行う。 ・協力学級との交流を進め、共生社会実現に向けた取組を行う。
		⑫対象生徒が適切な支援のもと、良好な学校生活を送れている。	
VII 組織 運営 努力点2-①	7 PDCAサイクルの中で授業改善と行事の充実に努め、特色ある教育課程がつけられている。	⑬授業や学校行事の質を高めるための取組が、継続的に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修を充実させ、授業改善を進めたり、学校行事の見直しを進めたりして教育課程の質的向上を図る。 ・報告、連絡、相談を密にして、学年主任の下にチームで行動し生徒を育てる。 ・学年、学級経営案を有効に活用する。 ・危機管理のための考え方や方法を周知すると共に、計画的な安全点検を実施する。 ・サービス規律委員会を活用し、行動計画の実施状況を常に確認、評価していく。 ・管理職のリーダーシップのもと、自然に豊富な話題が行き交う職場環境にする。 ・職員が目標をもち積極的に研修に参加する。 ・地域の人的、物的教育資源を活用する。 ・学校評価や通信等を活用し、地域へ情報発信を行う。
	8 学校教育目標の実現に向けて、学年・学級経営ができています。	⑭目標に向けて、意図的、計画的に学級づくりや学年づくりが行われている。	
	9 生徒の命と安全を守る学校づくりができています。	⑮危機管理態勢が整えられ、安全点検等が確実に実施されている。	
	10 教職員がサービス規律を遵守し、信頼される学校づくりができています。	⑯「サービス規律確保行動計画」に則り行動できている。	
	11 教職員が職責を自覚し力量を高めるために自己研鑽できる職場環境がある。	⑰職員間の会話等に温かみとインテリジェンスがあり、お互いに向上しあう職場風土がある。	
	12 家庭や地域と連携した学校づくりができています。	⑱学校から地域へ、地域から学校へという協力関係を築いている。	